



令和5年度

公益社団法人 日本補綴歯科学会

## 第5回 専門医研修会

テーマ：全部床義歯の印象法と咬合調整を再考する

抄録集

日時：2024年1月21日（日）10：00～12：00

会場：WEB開催（Zoom Webinar）

主催 公益社団法人 日本補綴歯科学会

理事長 窪木拓男

学会事務局：

〒105-0014 東京都港区芝 2-29-11 高浦ビル 4階

TEL：03-6722-6090

運営事務局：株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ

〒950-0983 新潟市中央区神道寺 1丁目 6-14

令和 5 年度  
公益社団法人 日本補綴歯科学会  
第 5 回専門医研修会

抄録集

目 次

1. 専門医研修会参加の皆様へ	1
2. 専門医研修会タイムテーブル	5
3. 専門医研修会抄録	7

# 1. 専門医研修会参加の皆様へ

## 開催概要

開催方式：WEB 開催（ライブ配信＋オンデマンド配信）

日 時：ライブ 2024 年 1 月 21 日（日）10:00～12:00

オンデマンド 2024 年 1 月 23 日（火）～2 月 2 日（金）

**（オンデマンドでの視聴は、単位は付与されません。）**

## 単位について

4 単位（本年度中の専門医研修会への参加回数の制限はありませんが、年度内 8 単位を取得上限とします。）

### 【単位付与条件】

ライブ配信視聴の場合のみ単位付与します。

ライブ配信開始 5 分後以降の入室，終了予定時刻 10 分前以前の退室には単位を付与しません。

アクセスログで単位登録いたしますので，視聴中の通信環境にご留意ください。

後日のオンデマンド配信視聴は，参加費をお支払いいただければ何度でも可能ですが，単位は付与されません。

### 【日歯研修単位】

日本歯科医師会会員の方は，上記と同じ条件で研修単位を付与しますので，申し込みページに**日歯 IC カード番号（6 桁）**を記入して下さい。

### 【アンケート】

単位取得に必須ではありませんが，アンケートサイトのアドレスをご案内しますので，ご協力をよろしくお願いいたします。

## 参加登録

申し込みは、2段階となっております。管理の都合上、お手数をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

参加費（3,000円）のお支払い方法は、1) クレジットカード決済または2) 銀行振込の2通りとなります。

### ※登録されるメールアドレスについて

キャリアメール（docomo.ne.jp, ezweb.ne.jp, softbank.ne.jp 等）をお使いの場合、自動返信メールが届かない可能性がありますので、極力キャリアメール以外でのご登録をお願いいたします。

【研修会参加申込フォームはこちら】

[https://app.payvent.net/embedded\\_forms/show/6578f62bcbbb713320f5f158](https://app.payvent.net/embedded_forms/show/6578f62bcbbb713320f5f158)

（業務委託先の Payvent システム（株式会社 Urbs 運営）に移動します）

<ご案内>

令和5年度は国内企業および他学会の運用実績をもとにセキュリティ対策を講じたシステムを採用いたしました。

プライバシーポリシー

<https://payvent.net/privacy-policy/>

1. 研修会参加申込フォームにて、必要事項をご入力いただき、お支払方法を選択の上、決済画面へお進みください。
2. 参加登録・参加費のお支払いが完了すると、ご登録いただいたメールアドレス宛に自動返信メールが届きます。
3. 銀行振込の方は、登録されたメールアドレス宛に自動返信メールが届きます。そちらのメールに、お振込み口座が記載されていますので、**1月18日（木）正午までにお振込みください。**

お振込先は、本参加登録システム Payvent が利用している決済代行会社が指定する銀行口座（stripe（ストライプ））へのお振込みとなります。

※同じアドレス宛に Zoom の URL をご連絡いたしますので、自動返信メールの受信を必ずご確認ください。

4. 1月19日（金）に視聴登録用 URL を入力されたメールアドレス宛にお送りいたします。視聴登録用 URL から「ウェビナー登録」の登録ページを開き、登録時と同じお名前とメールアドレス、補綴歯科学会会員番号をご入力ください。登録後、no-reply zoom.us から参加用のメールが届きます。

## 参加・視聴方法

上記の2段階目の登録終了後に no-reply@zoom.us から届きましたメールからご参加ください。メール下段の「ウェビナーに参加」を押すか、URL をクリックしてください。当日は30分前より入室可能です。

## 参加する皆様へ

### 1. 使用ツールおよび登録のお願い

本専門医研修会は Zoom 会議システム（ウェビナー）を利用します。専門医研修会開催までに各自にて事前にお持ちの PC、タブレット、または携帯端末等へ Zoom アプリのインストールおよび事前登録の氏名とメールアドレスの入力をお願いいたします。

※アプリからご視聴の際は1月19日（金）に配信されるメール記載の ID、パスワードをご入力願います。

### 2. オンデマンド配信について

1. **視聴用 URL は、運営事務局より 1月23日（火） に参加登録者に一斉に Eメールにて送信**されます。
2. なお、フリーメールや携帯キャリアのメールは迷惑メールフォルダへサーバーが自動振り分けする場合がありますので、**受信トレイ以外もご確認**いただきますようお願いいたします。

## 事務局・お問い合わせ

### 1 研修会について

公益社団法人日本補綴歯科学会事務局

〒105-0014

東京都港区芝 2-29-11 高浦ビル 4 階

TEL : 03-6722-6090

hotetsu-gakkai01@hotmail.com

### 2 参加登録について

株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ内

〒950-0983 新潟市中央区神道寺 1 丁目 6-14

TEL : 025-278-7232 FAX : 025-278-7285 (平日 9 : 00 ~ 17 : 00, 土, 日, 祝日休み.)

E-mail : jps@shinsen-mc.co.jp

## 2. 専門医研修会タイムテーブル

10:00-10:50

**【講演1】** 症例に適した印象法の選択の重要性

座長：佐藤 洋平（西関東支部）

池田 敏和（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：松田 謙一（関西支部）

10:50-11:40

**【講演2】** 押さえておくべき咬合調整のポイント

座長：佐藤 洋平（西関東支部）

池田 敏和（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：兒玉 直紀（岡山大）

11:40-12:00

**【質疑応答】**



### 3. 専門医研修会抄録

## 専門医研修会 座長抄録

座長

佐藤 洋平（西関東支部）

歯科佐藤 横浜鶴見

池田 敏和（修練医・認定医・専門医制度委員会）

奥羽大学歯学歯科補綴学講座

Chairpersons

**Yohei SATO**

Dental Office Sato Yokohma Tsurumi

**Toshikazu IKEDA**

Department of Prosthetic Dentistry, Ohu University School of dentistry

8020 運動の達成者が50%を超えていることからわかるように、我が国においては歯の欠損が減少している。その結果、全部床義歯の装着者数は減少傾向にあるが、社会の高齢化に伴い装着者がより高齢となっている。これは患者の口腔機能が低下していることを意味する。さらにこれまで以上に歯周疾患に罹患した歯を保存することができるようになったが、抜歯後の顎堤吸収が著しかったり、咬合位がずれていたりする症例が多くなっているように感じる。一方では大規模疫学調査の結果、オーラルフレイルが全身的なフレイルや要介護認定に大きな影響を及ぼすことが明確となっている。したがって補綴歯科治療を担当する私たちは、国民の健康長寿を達成するために上記のような「いわゆる難症例」の無歯顎患者に口腔機能を十分に回復できるような全部床義歯を提供することが求められる。

このような状況を鑑み、第5回専門医研修会では、全部床義歯をテーマに選択し、松田謙一先生、兒玉直紀先生を講師にお招きした。松田先生には症例に応じた印象法や個人トレーを利用した印象法、咬合床を利用した閉口印象法について動画を交えながら講演していただく。次に、兒玉先生には患者に応じた人工歯の排列位置、付与すべき咬合様式、平衡咬合と咬合平衡の概念を踏まえた咬合調整について実際の症例を交えながら講演していただく。

お二人のエキスパートによるご提案を臨床に取り入れることにより、さまざまな状況の症例に対応できるものと確信している。

トピックス

- 全部床義歯
- 印象法
- 咬合調整

## 佐藤 洋平先生

歯科佐藤 横浜鶴見



### 略 歴

- 2001年 鶴見大学歯学部 卒業
- 2005年 鶴見大学大学院歯学専攻 修了
- 2005年 鶴見大学歯科補綴第一講座 助手
- 2007年 鶴見大学歯科補綴第一講座 助教（職名変更）
- 2007-2008年  
Visiting Scientist, Texas A&M Health, Science Center, Baylor College of Dentistry, Department of Biomaterials Science
- 2011年 鶴見大学有床義歯補綴学講座 助教（講座名変更）
- 2013年 鶴見大学有床義歯補綴学講座 講師
- 2023年 鶴見大学口腔リハビリテーション補綴学講座 臨床教授
- 2023年 歯科佐藤 横浜鶴見 開設

### 委員等

- 日本補綴歯科学会 専門医・指導医
- 日本補綴歯科学会 学術委員会 委員

## 池田 敏和先生

奥羽大学歯学部附属病院歯科補綴学講座



### 略 歴

- 2014年 奥羽大学歯学部 卒業
- 2016年 奥羽大学歯学部附属病院 助手
- 2016年 奥羽大学大学院歯学研究科（口腔機能回復学） 入学
- 2017年 奥羽大学歯学部附属病院 助教
- 2021年 奥羽大学大学院歯学研究科（口腔機能回復学） 修了
- 2021年 奥羽大学歯学部 講師
- 2021年 公益社団法人日本補綴歯科学会 教育問題検討委員会 委員（～2023年）

### 委員等

- 公益社団法人日本補綴歯科学会修練医・認定医・専門医制度委員会 委員

# 専門医研修会 講演 1 抄録

## 症例に適した印象法の選択の重要性

演 者

松田 謙一（関西支部）

ハイライフ大阪梅田歯科医院

Importance of selecting the proper impression method for the specific case

**Kenichi MATSUDA**

HILIFE Osaka Umeda Dental Clinic

長い全部床義歯臨床の歴史の中で、印象法はさまざまな方法が考え出され、臨床応用されてきた。たとえば、補綴学専門用語集にも、無圧印象、加圧印象、選択的加圧印象、咬合圧印象法等々、実に多様な名称の印象法が紹介されている。では、どの印象法が最も優れているのだろうか？そもそも、印象法によって結果は異なるのだろうか？これらの問いに関しては未だ十分なエビデンスは得られておらず、結局のところ術者の所属や好みで選択されていると考えられる。しかしながら、一つの印象法だけで多様な症例を成功させることは困難であると感じることが多く、症例に応じて、正しい印象方法を選択することが重要となると感じている。

そこで本研修会では、これまで紹介されてきた多くの印象法を可能な限り整理し、その違いを解説するとともに、適応症例についても考察してみたい。また、印象法に関わらず、優れた印象を採得するために共通している重要な事項や、代表的な“個人トレーを用いた印象法”や“咬合床を用いて行う閉口印象法”を上手に行うためのポイントについても、動画を用いて分かりやすく解説したい。

トピックス

- 印象法の選択
- 印象圧の影響
- 個人トレーの適切な辺縁とは

## 松田 謙一先生



ハイライフ大阪梅田歯科医院

### 略 歴

- 2003年 大阪大学歯学部 卒業
- 2007年 大阪大学大学院歯学研究科 卒業
- 2007年 大阪大学大学院歯学部附属病院 第二補綴科 医員
- 2009年 大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座 助教
- 2019年 大阪大学大学院歯学研究科 臨床講師
- 2019年 HILIFE DENTURE ACADEMY 学術統括責任者
- 2019年 ハイライフ大阪梅田歯科医院 院長
- 2020年 大阪大学大学院歯学研究科 臨床准教授

### 専門医等

- 日本補綴歯科医学会 専門医・指導医・代議員
- 日本老年歯科医学会 認定医

# 専門医研修会 講演2抄録

## 押さえておくべき咬合調整のポイント

演 者

兒玉 直紀 (中国・四国支部)

岡山大学病院 歯科 (補綴歯科部門)

Key points to remember in occlusal adjustment of complete denture

**Naoki KODAMA**

Department of Prosthodontics, Division of Dentistry, Okayama university hospital

全部床義歯 (以下, CD) による機能回復を図るうえで, 咬合調整が重要であることに疑いの余地がない. 2007年に日本補綴歯科学会から発行された『有床義歯補綴診療のガイドライン』によると, ①臼歯部人工歯排列の要件は, 「義歯の安定が得られる位置に排列すること, 両側性平衡咬合ならびに片側性咬合平衡を保つこと, 舌房を確保すること, 咬合力の作用方向を考慮すること」, ②咬合調整後に「中心咬合位でのタッピング運動, 偏心位への運動時に義歯が安定することを確認すること」と記されている. しかし, 咬合調整と深く関わりのある上記要件について, 具体的な手技は解説されていない.

さらに咬合調整を行ううえで, CD に付与すべき咬合様式も重要である. 2004年に日本補綴歯科学会雑誌第49巻1号の「誌上ディベート フルバランスドオクルージョンかリンガライズドオクルージョンか」において, CD に付与すべき咬合様式についての見解が報告されたことは, 当時とても画期的な企画であった. しかしながら, 咬合様式に関する統一見解は未だ示されていないと考える.

昨今, 日本は超高齢社会を迎え, CD 患者の病態, 治療要件も変化していると推察する. そこで本研修会では, 1) 人工歯排列位置, 2) 付与すべき咬合様式, 3) 平衡咬合と咬合平衡の概念, から考えた CD の咬合調整について実際の症例を交えて解説したい.

トピックス

- 人工歯排列位置
- 付与すべき咬合様式
- 平衡咬合と咬合平衡

## 兒玉 直紀先生



岡山大学病院 歯科（補綴歯科部門）

### 略 歴

- 2002年 岡山大学歯学部歯学科 卒業
- 2002年 岡山大学歯学部附属病院 医員（研修医）
- 2008年 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 修了
- 2008年 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 咬合・有床義歯補綴学分野 助教
- 2014年 モントリオール大学歯学部 客員教授
- 2015年 岡山大学病院 咬合・義歯補綴科 助教
- 2020年 岡山大学病院 咬合・義歯補綴科 講師
- 2021年 岡山大学病院 歯科（補綴歯科部門） 講師

### 専門医等

公益社団法人日本補綴歯科学会専門医・指導医

### 委員等

公益社団法人日本補綴歯科学会編集委員会

— 本誌を複製される方に —

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、(社)日本複製権センターと包括複製許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複製権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の引用・転載・翻訳のような複製以外の許諾は、直接本会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

一般社団法人 学術著作権協会

FAX : 03-3475-5619 E-mail : info@jaacc.jp

ただし、アメリカ合衆国における複製については、次に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone : 978-750-8400 Fax : 978-646-8600

— 日補綴会誌への投稿方法 —

投稿希望の方は、下記の URL をご参照のうえ、

ご不明な点は学会事務局（電話：03-6722-6090）までお問合せください。

<http://www.hotetsu.com/t1.html>

---

**日本補綴歯科学会 令和5年度第5回専門医研修会抄録集**

---

令和6年1月21日発行

発行者 窪木拓男

編集 公益社団法人 日本補綴歯科学会

学会ホームページ /<http://www.hotetsu.com/>

〒105-0014 東京都港区芝2丁目29番11号

高浦ビル4階

公益社団法人 日本補綴歯科学会

電話 03(6722)6090

---